



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 国際会議報告



会議： 国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）海洋環境保護分科委員会（SC 2）、油流出対応（WG 3）、船上ゴミ（WG 4）、防汚塗料システム（WG 5）及び軸出力計測（WG 8）ペイントン会合 2017

開催場所： The Paignton Club：デヴォン州ペイントン、英国

会議期間： 2017年6月27日～29日

参加者： オブザーバーとリエゾンを含む 13 機関より 22 名

海技研からの出席者：

小島 隆志：環境・動力系環境影響評価研究グループ上席研究員

概要

- ISO/TC8/SC 2（以下 SC 2 と記す。）は、ISO 21716「防汚塗料の性能評価に関する試験法」を ISO/TC35（塗料とワニス）とのリエゾンにて作業することを指示し、必要であればプロジェクトリーダー（当所小島）に規格案を修正するよう指示した。本規格案は、本年 8 月末を目処に再投票することとなった。
- SC 2 は、ISO 16304「港湾廃棄物受入施設の配置及び管理」の規格案に合意し、DIS 投票に付することに合意した。

主な貢献

小島は、防汚塗料システム（WG 5）に参画し、ワークショップにて規格案作成の背景および内容を説明すると共に、プロジェクトリーダー（PL）として規格案の作業の進捗に貢献した。



ISO/TC 8/SC 2/WG 5 審議の様子



主な審議結果

SC 2 総会は、2 日目の午前中に開催された。各 WG は、初日の終日 (WG 5/WG 8)、二日目の午後 (WG 4/WG 8)、及び三日目終日 (WG 3/WG 4) に並行して開催された。なお、議長の吉田氏は今次総会を以て退任することとなった。議長の 11 年に亘る本会活動への感謝と栄誉をたたえ、目録が授与された。次回 SC 2 より千田氏が議長に就任する予定である。

1 油流出対応 (WG 3) 関係

ISO 17325 シリーズ (オイルブーム)、ISO 20053 (油吸着材の設計及び選定指針) の進捗について、各 PL より報告された。しかし、ISO 21693 (海洋環境に資する油水分離器を最適化するためのタンク及び配管の設計) については、PL (独) の欠席により通信部会 (CG) で審議を継続することとなった。ISSA (国際油流出防止認定協会) は、将来の作業項目として、海上における油流出防止設備の事業者に対する認定要件に関する規格開発を提案した。WG 3 は、本提案について、次回 WG (2018 年 3 月) にて新作業項目 (NP) 投票に向けた準備を進めることに合意した。

2 船上ゴミ (WG 4) 関係

ISO 13617 「船上焼却炉の要件」、ISO 16304 「港湾廃棄物受入施設の配置及び管理」及び、ISO 21070 「船上ゴミの管理及び取り扱い」の進捗について、各 PL より報告された。WG 4 は、この中で、ISO 16304 がまもなく国際規格案 (DIS) として制定することを確認した。WG 4 コンビナー (米国) が、将来の作業項目として、極海域の船上ゴミ処理に関する新作業項目を提案した。WG 4 は、本提案に対して NP 投票に向けた準備を進めることに合意した。

3 防汚塗料システム (WG 5) 関係

WG 5 は、2 セッションのワークショップ「船底防汚塗料から見た船体付着生物の越境移動問題への対応」として開催された。セッション 1 では、WG 5 コンビナーおよび PL (小島) は、主に防汚塗料の性能評価手法を規定する ISO/PWI 21716 シリーズ (防汚塗料の性能評価に関する試験法、我が国提案) に関して、規格の提案に至った背景 (IMO での審議状況、各国の船体付着生物の管理及び規制内容、提案内容の概要および各部の概略説明) について講演した。続くセッション 2 では、PL の作成した本規格案の内容を審議したが、審議時間の都合により、第一部の途中のみで審議が終わった。これらの審議を経て総会では、本規格案を TC 35 (塗料とワニス) とのリエゾンにて作業し、本年 8 月末を目処に再投票することに合意した。

4 軸出力計測 (WG 8) 関係

WG 8 は、ISO 20083-1 (ひずみゲージ式軸馬力計)、ISO 20083-2 (光反射式軸馬力計、我が国提案) 及び ISO 20083-3 (振動膜厚式軸馬力計、我が国提案) の内容について審議した。審議の中で、ISO 20083-1 は軸馬力計の校正に関する規定であるが、他の 2 部は計測方法に関する規定であることから、シリーズ規格として審議することに異議があった。この結果、WG 8 は ISO 20083-1 の規格番号を変更することに合意した。将来の作業項目として、ISO 20083-2 及び ISO 20083-3 並びに、他種類の軸馬力計に共通する一般要件を規定した新規規格が提案された。WG 8 は、この規格を新たに ISO 20083-1 として作成されることに合意した。

5 次回会合

次回 SC 2 の会合は、遅くとも 2018 年春には開催する予定 (開催地は未定) である。